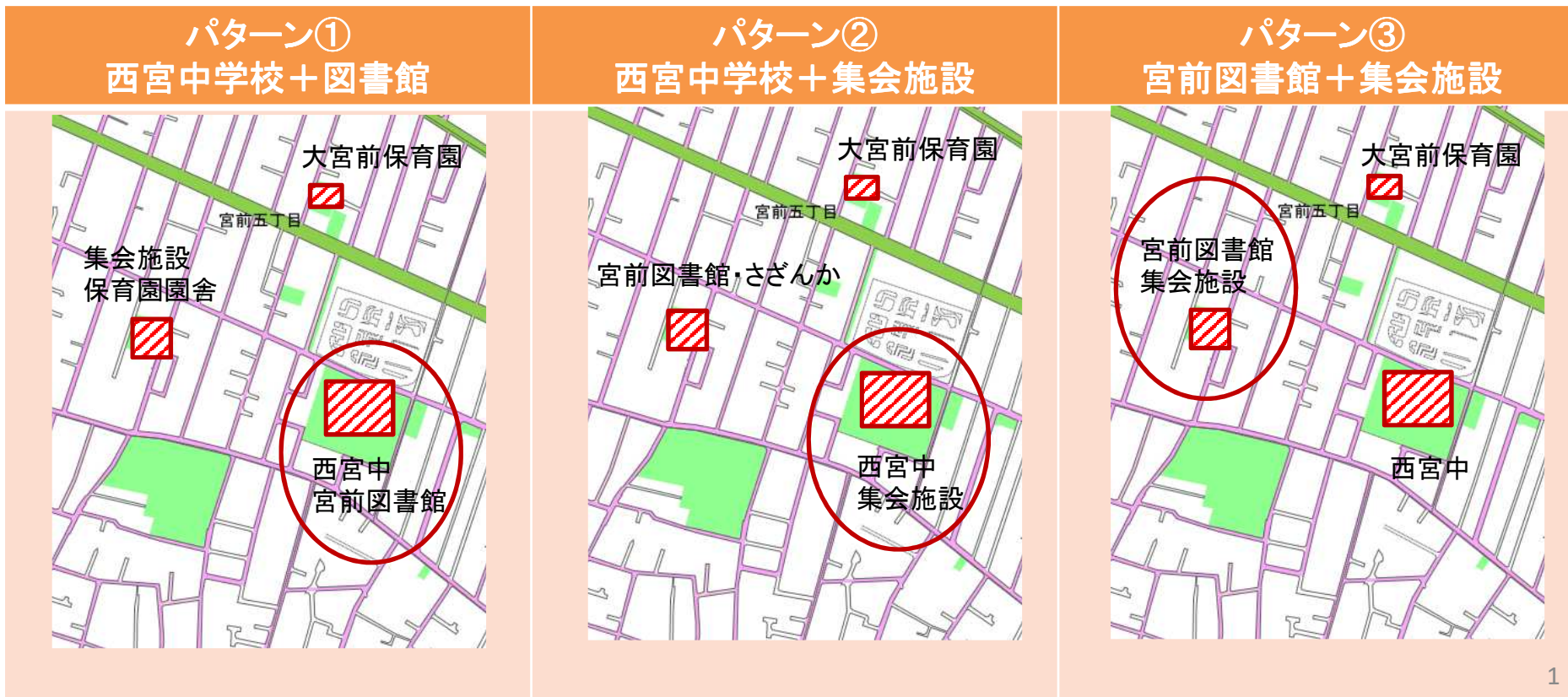


【宮前地域における施設再編の課題】

- 西宮中学校(築61年)、大宮前保育園・併設のゆうゆう館(築57年)が改築時期を迎えている。
- 宮前図書館(築50年)も改築を検討すべき時期となっている。
- 集会施設の整備が課題。
(※大宮前保育園を現在地で改築する場合、容積率制限から、現在併設されているゆうゆう館と併設での改築は困難)
- 保育園は、原則、休園期間なしで、継続して運営を行うことを前提としている。

【施設整備後の施設の配置(想定)】

○は主な複合施設



複合化パターンについて

		パターン① 中学校＋図書館の複合化	パターン② 中学校＋集会施設の複合化	パターン③ 図書館＋集会施設の複合化 (中学校単独)
敷地	中学校 敷地	・中学校 (7,470㎡) ・図書館 (1,650㎡)	・中学校 (7,350㎡) ・集会施設 (600㎡)	・中学校 (7,350㎡)
	図書館 敷地	・集会施設 (600㎡) ・保育園(仮園舎・本園舎)	〔・図書館 (1,300㎡) ・さざんかステップアップ教室(350㎡)〕 ※当面は長寿命化改修を検討	・図書館 (1,050㎡) ・集会施設 (600㎡)
施設 計画	中学校 計画	校舎等	10学級規模の必要諸室を整備	10学級規模の必要諸室を整備
		校庭	現状と同程度(約4,400㎡)を確保	現状と同程度(約4,400㎡)を確保
		地下	一定の地下利用を想定	地下利用なし
	図書館 計画	一定のスリム化を図り改築	当面は長寿命化改修を検討 (将来の改築時は、一定のスリム化を図る)	現状規模からは大幅なスリム化を図り改築
複合化 効果	補足資料1 ソフト面	・地域図書館との緊密な連携による教育環境の向上 ・休校日等の学校不使用时に図書館利用者が学校図書館等を利用	・一般的には、「地域の人的資源の活用可能性」「学校の特別教室等の共用」等が期待されるが、さらなる検討が必要	・対話や交流を通じた出会いや活動の場としての図書館像 ・図書館と集会施設(コミュニティふらっと)との複合化の実績あり
	ハード面	・閲覧スペース、講座室の共用	・開放会議室等の面積削減 (併設の集会施設を利用)	・ロビー、廊下、トイレ等の共用
その他 計画上のメリット・デメリット		・休館期間なく図書館の改築が可能 ・休園期間なく大宮前保育園等の改築が可能	・図書館は、長寿命化の際に改修内容によって数か月の休館が必要。将来の改築時は約3年間の休館が必要 ・保育園の敷地で現地改築する場合、休園が必要となり、地域の保育定員が減少する。(最大72人) ・さざんかステップアップ教室が図書館と共存し続けられる可能性あり	・図書館の改築で約3年間の休館が必要 ・保育園の敷地で現地改築する場合、休園が必要となり、地域の保育定員が減少する。(最大72人)
補足資料3 コスト(施設整備)		他のパターンより高い	中間	他のパターンより低い

※各施設の面積や、複合化の相手方施設は現段階での想定。